

新規事業評価調書

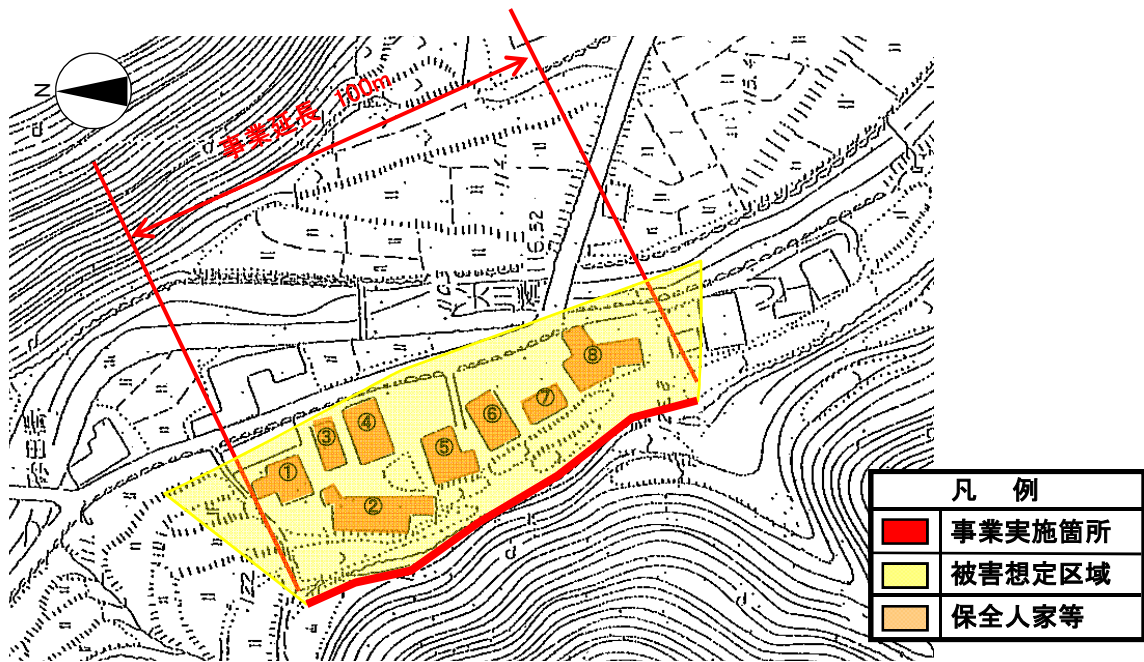
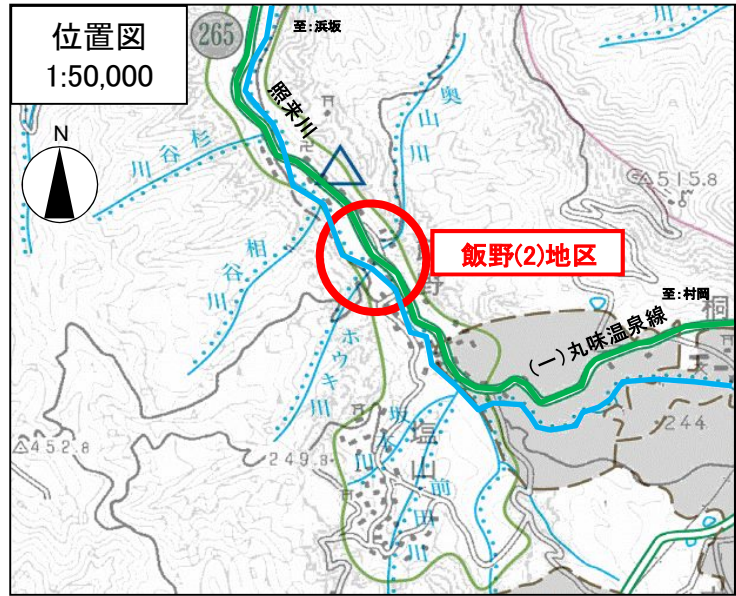
【県単独土砂災害対策事業】

飯野（２）地区

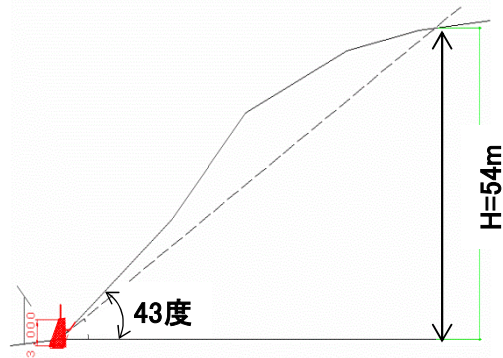
県土整備部
土木局 砂防課

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 高谷和彦 (班長 肥田憲明)	内線	4459 (4467)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
急傾斜地崩壊対策事業	県単独土砂災害対策事業 いいの飯野(2)地区	美方郡 しんおんせん いいの 新温泉町飯野	1.1億円	—	平成27年度	平成29年度
事業目的			事業内容			
<p>当地区は、斜面崩壊の危険性が高いことから、急傾斜地崩壊危険箇所となっており、斜面の下部には人家8戸、町道がある。</p> <p>そのため、地域の人命・財産を守り、安全・安心な暮らしを支えるために、「第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画(H26～H30)」に基づき、急傾斜地崩壊対策を実施する。</p>			<p>擁壁工 延長100m 高さ3.0m～6.0m</p> <p>【負担割合】 県： 90.0% 地 元： 10.0%</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	<p>① 飯野(2)地区にある急傾斜地崩壊危険箇所（湯村温泉より南西へ約3.3km）である。</p> <p>② 斜面は荒廃しており、大きな転石も認められ、危険な状態である。</p> <p>③ がけ直下に多くの人家が連たんしており、土砂災害の危険性が高い。</p>					
(2) 有効性・効率性 (執行環境状況)	<p>① 戒避難体制の整備に加え、ハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。</p> <p>② 地元要望が強く、工事に対する地元の理解が得られていることから、円滑な事業の執行が可能である。</p>					
(3) 環境適合性	① 擁壁の施工にあたり、切土面を最小限にとどめ、周辺環境との調和に努める。					
(4) 優先性	① 保全対象には人家8戸、町道がある。また、荒廃が進行しており、大きな転石も認められることから、早期事業着手を図る。					



横断面図



箇所名	飯野(2)地区
-----	---------